

## 8.12 交通渋滞

### 8.12.1 調査事項

調査事項は、表 8.12-1 に示すとおりである。

表8.12-1 調査事項

区 分	調査事項
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事用車両の集中稼働を行わないよう、可能な限り工事工程の平準化に努める計画である。</li> <li>・朝・夕の周辺交通量が多くなる時間帯には、極力工事用車両の走行を控える。</li> <li>・工事用車両の出入口には交通整理員を配置する予定とし、計画地周辺の車両の通行に支障を与えないように配慮する。</li> <li>・工事用車両の走行に当たっては、安全走行の徹底、市街地での待機や違法駐車等をすることがないように、運転者への指導を徹底する。</li> <li>・工事作業員の通勤に際しては、公共交通機関を利用する等通勤車両の削減に努めるよう指導する。</li> <li>・工事用車両の走行ルートは、近隣の他の会場等の建設も踏まえ、交通渋滞による影響を軽減するため、極力、沿道に住居等が存在しない湾岸道路等を利用する計画とする。</li> <li>・工事用車両が特定の道路に集中しないよう、同時期に行われる周辺事業との十分な協議を行う。</li> <li>・上記のミティゲーションも含め、周辺地域における交通の円滑化及び交通安全の確保が図られるよう詳細な施工計画を作成する。</li> </ul>

### 8.12.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

### 8.12.3 調査手法

調査手法は、表 8.12-2 に示すとおりである。

表8.12-2 調査手法

調査時点		工事中の適宜とした。
調査期間	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とした。
調査地点	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。
調査手法	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。

## 8.12.4 調査結果

## (1) 調査結果の内容

## 1) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.12-3 に示すとおりである。なお、交通渋滞に関する問合せはなかった。

表8.12-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事用車両の集中稼働を行わないよう、可能な限り工事工程の平準化に努める計画である。</li> </ul>	前日の作業間連絡調整会議（写真8.12-1）時に工事用車両の総量を把握し、入退場時間や複数ある工事用車両出入口を計画的に使用調整することで、車両の集中を避けた。
<ul style="list-style-type: none"> <li>朝・夕の周辺交通量が多くなる時間帯には、極力工事用車両の走行を控える。</li> </ul>	稼働台数の多いダンプトラックについて総量を確認し、搬出入時間を調整することで、集中を避けて平準化した搬出入計画とした。また、近くの東京辰巳国際水泳場でのイベント等で前面道路に一般車両や歩行者が一時的に多くなるときは、極力工事用車両の走行を控えるよう配慮した。
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事用車両の出入口には交通整理員を配置する予定とし、計画地周辺の車両の通行に支障を与えないように配慮する。</li> </ul>	工事用車両の出入口付近に交通整理員を適正人数配置（写真8.12-2）し、歩行者最優先の誘導を行うよう適宜指導するとともに、工事用車両運転手へは交通整理員の誘導に従うよう指導した。また、近くの東京辰巳国際水泳場でのイベント等で前面道路や歩道に一般車両や歩行者が一時的に多くなるときは、交差点付近にも交通整理員を増員配置し、交通渋滞の低減と第三者の安全確保に努めた。
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事用車両の走行に当たっては、安全走行の徹底、市街地での待機や違法駐車等を行うことがないように、運転者への指導を徹底する。</li> </ul>	工事用車両の走行に当たっては、関連法令を遵守するよう、安全衛生協議会や朝礼（写真8.12-3）等で適宜指導を行った。
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事作業員の通勤に際しては、公共交通機関を利用する等通勤車両の削減に努めるよう指導する。</li> </ul>	安全衛生協議会や新規入場者教育等で公共交通機関の積極的利用を促すとともに、通勤車両を利用する場合はできるだけ乗合乗車とすることで台数削減に努めるよう指導した。
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事用車両の走行ルートは、近隣の他の会場等の建設も踏まえ、交通渋滞による影響を軽減するため、極力、沿道に住居等が存在しない湾岸道路等を利用する計画とする。</li> </ul>	沿道環境や近隣への影響に配慮した走行ルートをあらかじめ設定し、安全衛生協議会や施工前打合せ等で施工業者に事前指導を行い、交通渋滞による影響の低減、歩行者の安全確保に努めた。
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事用車両が特定の道路に集中しないよう、同時期に行われる周辺事業との十分な協議を行う。</li> </ul>	周辺事業と計画地周辺の交通状況に配慮し、調整会議等を適宜開催し、周辺市街地への影響を低減するように努めた。
<ul style="list-style-type: none"> <li>上記のミティゲーションも含め、周辺地域における交通の円滑化及び交通安全の確保が図られるよう詳細な施工計画を作成する。</li> </ul>	作業間連絡調整会議（写真8.12-1）等で、計画地周辺の交通事情にも配慮した搬出入調整、交通整理員（写真8.12-2）の適正配置を行った。



写真 8.12-1 作業間連絡調整会議の状況



写真 8.12-2 交通整理員



写真 8.12-3 朝礼の状況